

日本二普協ニュース

No. 117
平成28年7月号



一般社団法人
日本二輪車普及安全協会

平成28年度定時総会を開催

平成28年度
一般社団法人 日本二輪車普及安全協会 定時総会



一般社団法人日本二輪車普及安全協会（日本二普協）では6月22日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で「平成28年度定時総会」を開催しました。

総会では、平成27年度事業報告及び決算、平成28年度事業計画及び予算、役員を選任について審議し、いずれも承認されました。

日本二普協は本年度も、「二輪車安全運転普及活動の推進」、「二輪車防犯活動の推進」、「二輪車の利用環境の改善」、「二輪車の流通環境の整備推進」、「二輪車の楽しさを訴求する各種イベントの開催等」、「モーターサイクルスポーツの普及促進」、「広報活動の推進」、を基本施策として各事業活動を積極的に推進して参ります。

引続き、皆様のご支援ご協力をお願い致します。

◆目

■平成28年度定時総会ご挨拶	
伊東孝紳 日本二普協会長	2
井上剛志 警察庁交通局長	3
■平成27年度事業報告	4
■平成28年度事業計画	10
■平成27年度活動優秀都府県地区表彰	14
■定時総会後の意見交換会ご挨拶	
伊東孝紳 日本二普協会長	15
世古俊晴 自工会二輪車企画部会長	15
■警察庁交通局長からサミットへの協力に謝意、日本二普協新役員名簿	16

◆次

■トピックス	
「2016バイクマイレージin北海道」をご存じですか?	17
「グッドライダー・防犯登録推進キャンペーン」を終えて	18
「第41回二輪車安全運転推進運動」の実施について	18
「グッドライダーミーティング」過去最多121回開催	19
「グッド♡マナー JAPAN RIDERS」の認知度を拡大	20
バイクの日 スマイル・オン2016のご案内	21
■普通会員である二輪車関連団体及び特別会員のご紹介	22
■編集後記	24
■参考資料	
統計1:都道府県別二輪車乗車中交通事故死者数	25
統計2:グッドライダー・防犯登録 前年対比表	26
統計3:二輪車盗難認知及び被害回復状況	27

日本二輪車普及安全協会 伊東孝紳会長挨拶



本日は、ご多忙中にもかかわらずご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、皆様方には、平素から協会の事業運営並びに諸活動に対しまして多大なるご理解とご支援、ご協力を賜っておりますことに、この機会をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

開会にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

ご承知のように、国内二輪車業界を取り巻く環境は依然厳しく、先般自工会が発表した今年度の二輪車総需要は40万台を割り込む約39万台となっております。また地震による影響も懸念されるところであります。

当協会が昨年度に策定しました3年間の中期業務計画には「二輪車産業政策ロードマップ」に基づき、若者や新規層への二輪車の魅力の訴求、二輪車の安全安心な利用の促進や駐車場の整備をはじめとするユーザーの利用環境改善などに資する施策を盛り込み、運営を進めて参りました。今年度は同計画2年度目に入りますので、各種事業の推進に当たりましては、一人でも多くのユーザーが二輪車利用の輪に加わっていただけるよう、また所期の目標以上の成果が上げられるよう、初年度における実施状況を踏まえ、より効果的な推進を図ってまいりたいと考えております。

皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本日の会議では、平成27年度事業報告及び同決算、現役員の任期満了に伴う役員の選任、平成28年度事業計画及び同収支予算についてお諮りすることとしております。

ご審議をよろしくお願い申し上げます、ご挨拶と致します。



来賓ご挨拶

警察庁 井上剛志交通局長



ただいまご紹介に預かりました、警察庁交通局長の井上でございます。日本二輪車普及安全協会の平成28年度定時総会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

ご列席の皆様方には、平素から警察活動各般にわたり、ご理解とご協力をいただくとともに、二輪車の交通安全と防犯対策の推進にご尽力されておりますことに対し、この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

ただいま、二輪車の交通安全とグッドライダー・防犯登録制度の普及促進に多大な貢献をされたご功績により、表彰を受けられました山梨県、札幌地区をはじめ、各県の二輪車普及安全協会の皆様には、心からお祝い申し上げます。

昨年は、交通事故死者数が4,117人と残念ながら15年ぶりの増加となりました。高齢者人口が増加しているなどを背景として、交通事故死者数が減りにくい状況が続いているほか、飲酒運転等の悪質・危険な運転による悲惨な交通事故も後を絶たないなど、交通情勢は依然として厳しい状況にあります。

一方、二輪車の交通事故の状況を見ますと、二輪車乗車中の死者数は677人と、前年と比べて20人減少しておりますが、50代後半から60代前半の死者数は昨年と比較して約3割増加しております。

また、原付乗車中では、死者数の半数以上を高年齢運転者が占めるなど、楽観できない状況にあるものと考えております。

こうした中、本年3月、第10次交通安全基本計画が決定され、「平成32年までに交通事故死者数を2,500人以下とし、世界一安全な道路交通を実現する」という政府目標が示されました。

警察といたしましては、政府目標の達成に向け、交通事故実態の詳細な分析に基づいた交通安全教育や広報啓発、交通事故抑止に資する指導取締りや街頭活動、交通安全施設の整備等の各種施策をなお一層総合的かつ強力に推進していくこととしております。

また、高齢運転者対策や準中型免許の新設等、平成27年改正道路交通法の円滑かつ適切な施行に向け、関係機関と緊密に連携し準備作業を進めていくこととしております。

現下の厳しい交通情勢の中で交通死亡事故等抑止の成果を上げるためには、警察と関係機関・団体が連携を一層強化し官民一体となって取り組んでいくことが不可欠と考えております。

皆様方におかれましては、「グッドライダーミーティング」などの各種安全運転普及活動の機会を通じまして、二輪車の交通事故防止活動に積極的に取り組んでいただいているところでありますが、今後とも、効果的な交通事故防止活動にご尽力賜りますことをお願いいたします。

最後になりますが、貴協会の益々のご発展と、ご参会の皆様方のご健勝を祈念申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

平成27年度事業報告

第1 二輪車安全運転普及活動の推進

1 店頭個別安全指導活動の推進

- (1) 安全運転指導のポイントを記述した資料等を作成、配布し、その積極的活用を働きかけた。
- (2) グッドライダー宣言を確実に実施するよう働きかけた。
- (3) 二輪車安全運転指導員資格の取得を勧奨した。

卸販社の協力を得て二輪車安全運転指導員未在籍店を抽出し、指導員資格の取得を促して、指導員の計画的増員を図った。

ア 販売店に対し、地方二輪車安全運転推進委員会が行う二輪車安全運転指導員審査の実施情報を発信して審査を受けるよう促し、83名が審査に合格し、新たに指導員資格を取得した。また、4メーカー・卸販社では32名が合格し、指導員資格を取得した。

イ 指導員が在籍している販売店には、指導員在籍店証を店頭に掲示してその周知徹底を図った。

2 各種安全運転講習会の開催

- (1) グッドライダーミーティングを積極的に開催した。

ア 47都道府県で115回開催し、受講者数は4,220人であった。前年度に比較して回数で5回、受講者数で117人増加した。

このうち、高齢者講習として大阪、奈良、鹿児島で各1回、計3回、女性に対する安全運転講習は、千葉、東京、富山、大阪、兵庫、愛媛で各1回、計6回実施した。

イ グッドライダーミーティングが指導員マニュアルに基づき的確に実施されるよう、指導員研修会を開催した。

ウ 全国統一の受講者アンケートを実施し、全国111会場、3,653人からのアンケート結果を集計分析した。また、アンケート結果に見られる受講者の傾向と評価を各支所へフィードバックし、今後のより良い開催に向けて反省改善すべき点の把握とその内容を反映させた実施を図った。



グッドライダーミーティング

- (2) 高校生等を対象とした安全運転講習会を積極的に推進した。

ア 関係機関、団体（特に交通安全協会・二輪車安全運転推進委員会）と連携を図りながら、バイク通学許可生徒の多い県等を実施対象県として、新たに作成した指導員マニュアル及び高校生用原付安全リーフレットを活用した高校生安全運転講習会を本協会の主催、共催、協賛を含め、25都県230校に対し206回開催し、実技5,962人、座学に10,344人の高校生が参加した。

イ 一般社団法人日本自動車工業会（以下「自工会」という。）から受託した高等学校交通安全教育振興事業として以下の講習会を実施した。

- 原付通学許可校等の生徒指導担当者研修会を一般財団法人日本交通安全教育普及協会に実施を委託して宮城県（19校19人）、茨城県（30校32人）、奈良県（16校17人）で開催した。
- 県二普協・二推のリーダー指導員研修会を宮城県、鹿児島県、愛媛県、高知県、長崎県、山梨県、奈良県、広島県、埼玉県の9県において134人に対して実施した。
- 特別取組みとして、埼玉県教育委員会の「高校生にバイクは不要」宣言の撤廃に向け、指定校への安全講話や山間部原付通



原付通学許可校生徒指導担当者研修会

学許可生徒安全講習として、埼玉県下の県立ふじみ野高校（2回、1,062人）、県立幸手高校（600人）、県立八潮高校（590人）の計2,252人の高校生を対象とした交通安全教育講座を実施するなどした。

○ 秩父エリア高校フォロー実技講習（生徒指導型研修会）を県立秩父農工科学高校の原付通学生徒18人に実施した。

(3) 地域二普協が実施する安全運転講習会に協力、支援するとともに、活動実績が優良な地域二普協39団体の表彰を行った。

3 免許取得支援活動の推進

(1) Webサイトの内容を充実し、免許取得方法や教材等の情報を分かりやすく発信をした。「免許取得方法の案内」に併せて当協会が発行している「原付試験問題集」、「バイクと法令」等の各種教材をスマートフォン等で情報発信し、その利用促進を図った。

また、受験者が身近で教材を購入することができるように卸販社の協力を得て、教材販売を取扱う販売店の拡大を積極的に推進した。

(2) 「原付試験問題にチャレンジ」（通称：ゲンチャレ）Webサイトについて、実技編を含めより一層の利用促進を図った。ゲンチャレWebサイトへのアクセス数は、昨年度は1,053,958visitで、夏休み及び春休み期間である8月及び3月に最も多くのアクセスがあった。また、一番多い年齢層では16歳から20歳の若年層が7割を占めた。

(3) 「バイクと法令」4,253冊、「原付と安全運転」（警察庁監修）8,200冊、「原付試験問題集」1,968冊を頒布した。

4 第40回二輪車安全運転推進運動の実施

秋の全国交通安全運動の時期に併せ、9月11日（金）から9月30日（水）までの20日間、関係省庁の後援と関係団体の協力、協賛を得て、全国の販売店参加の下に「二輪車安全運転推進運動」を実施した。

(1) 安全運転講習を91回、2,750人に対して実施し、街頭点検指導を41回、1,587台に実施した。

(2) 「バイクの安全な乗り方」チラシ143,600枚を配布して店頭個別安全指導を実施した。

(3) ヘルメットの正しい着用の推進とプロテクター装着を奨励した。

(4) 本運動推進ポスター12,775枚、チラシ222,950枚等を活用した広報啓発活動を実施した。

さらに、公益財団法人自動車リサイクル促進センター作成の二輪車リサイクルシステムについてのパンフレットの配布等を行い、協力した。

(5) 推進運動終了後、期間中の実施結果を小冊子にまとめ、内閣府、警察庁、国土交通省、文部科学省、卸販社及び各支所等に1,500部配布した。

5 関係機関・団体との連携活動の推進

関係機関、団体と緊密に連携して、各種交通安全運動や交通安全大会に後援、協力、支援の実施や指導を行うとともに、二輪車安全運転指導員の養成などに積極的に協力した。

(1) 「春の全国交通安全運動」期間中に開催された一般社団法人日本自動車会議所主催の交通安全をテーマにした体験型イベント「交通安全。アクション2015」に参画し、二輪車の交通安全意識の高揚と啓発を図った。

この他、関係機関・団体が行う各種交通安全運動、講習会、イベント等に参画し、協力、支援した。

(2) 第48回二輪車安全運転全国大会、同県予選大会に後援、協力し、県予選大会を含む大会の活性化を図るとともに、表彰式では、会長から4競技の個人優勝者に対し、ボディプロテクター付きジャケットと電子辞書を、2位、3位の選手には電子辞書を贈呈した。

(3) 二輪車安全運転特別指導員・指導員の審査及び研修会に協力した。



交通安全。アクション2015

中央及び地方の二輪車安全運転推進委員会が実施する審査及び研修会に講師を派遣するなどの協力を行った。

(4) 地域二普協との連携強化を図った。

地域二普協が行う安全運転講習会、街頭点検指導、イベント等を積極的に支援し、また連携を強化して地域の交通安全活動の活発な展開を図った。

6 ポスター、チラシ等の作成、配布

第2 二輪車防犯活動の推進

1 グッドライダー・防犯登録（以下「G防登録」という。）の推進

(1) G防登録の登録状況

年間30万件超の登録実施を目指し、次の各施策を推進した。

3月から6月までの4か月間、本部及び支所が連携して、また、卸販社の支援、協力を得て、販売店に対し、販売する全車にG防登録が行われるよう積極的に働きかけG防登録推進キャンペーンを実施した。

しかしながら、こうした施策を実施したものの、平成27年度のG防登録件数は、新車、中古車合わせて247,370件で、前年度比16,679件減少した。また累計有効登録件数は2,337,735件で、平成27年度末の保有台数に対する登録率は21.4%となった。

(2) 新G防登録帳票への切り替え

4月以降の発注分から新G防登録帳票を配布し、順次切り替えた。

(3) G防登録帳票・ステッカーのセットの卸売価格の見直し

G防登録帳票・ステッカーのセットの卸売価格の見直しを検討したが、現在の諸情勢（二輪市場の低迷、G防登録件数の減少、軽自動車税の増税など）を総合的に勘案した結果、各地域の現在の価格を維持することとした。

(4) G防登録制度の適正な運用

(5) 年間表彰の実施によるG防登録意識の高揚

2 二輪車盗難照会システムの利用促進

平成27年度末における加盟店数は、3,126店で、同年度中の照会件数は、1,344,574件であった。平成18年8月の運用開始以降の累計照会件数は、10,553,814件となった。

(1) 有料店について、料金を含むシステム利用条件等の検討を行い、二輪車盗難照会システム利用約款を改正し、加盟店に配布した。

(2) 二輪車を取扱うリサイクル店等の業務運営の実態を把握し、これら販売店に対して二輪車盗難照会システムの利用促進を図った。

3 個人情報保護の徹底

第3 二輪車の利用環境の改善

1 二輪車の駐車環境改善の促進とユーザーの駐車場利用啓発

(1) 行政への働きかけ

自工会等の二輪車関連団体と連携し、関係省庁、都道府県警察、自治体に対して働きかけを実施した。

ア 国土交通省、経済産業省、警察庁等の関係省庁には、自治体の駐車場関連条例改正の働きかけ継続と、駐車場整備助成制度の拡充を求めた。

イ 全国の自治体駐車場組織（72組織）に「全国バイク駐車場案内サイト」のチラシなどを送付し情報提供依頼を行うとともに、自工会作成の「自治体の二輪車駐車場・事例集」を同送し啓発活動を行った。



G防ステッカー見本

(2) 駐車場関連団体・民間駐車場事業者への働きかけ

駐車場事業者に二輪車駐車場事業への参入働きかけと、情報提供を求めるため、次のとおり活動を推進した。

ア 経済産業省と協力し、公益財団法人東京都道路整備保全公社（以下、保全公社という）の「路上駐車場実態調査」に基づく需給バランスなど現状把握に関する勉強会を行い、一般社団法人全日本駐車協会、一般社団法人日本パーキングビジネス協会をはじめとした駐車場関連団体や二輪関連団体、民間駐車場業者 72 名が参加し情報共有を行った。



路上駐車場の実態調査勉強会

イ 「全国バイク駐車場案内」 Web サイトに掲載している平成 27 年末の

二輪車駐車場は、5,787 箇所、前年同期比 1,922 箇所の増加となり、収容台数は 144,036 台で前年同期比 5,463 台の増加となった。

(3) 二輪車ユーザーに対する駐車場利用啓発

ア 「全国バイク駐車場案内」 Web サイトの認知度・利用頻度を高める為に、チラシ 53,000 枚を作成、卸販社の協力により二輪販売店（3,200 店）及び各種イベントにて配布し、ユーザーの駐車場利用促進とマナーアップを図った。また、平成 27 年度中の「全国バイク駐車場案内」 Web サイトのアクセス数は 1,663,735visit となり、前年度比で 153% となった。

イ 本田技研工業株式会社の「Honda Moto LINC」、ヤマハ発動機株式会社の「つながるバイクアプリ」に対して、「全国バイク駐車場案内」 Web サイトのデータを提供した。

2 二輪車通行規制区間解除への取り組み

(1) ユーザーへの情報提供と注意喚起の為に運営している二輪車通行規制区間情報サイトに関するパンフレット 25,000 枚を作成し、卸販社の協力により二輪販売店（3,200 店）および各種イベントにて広く告知した。

(2) 都道府県警察より、直近の二輪車通行規制区間情報の提供を受け、情報の改廃を行った。

(3) 二輪車通行規制区間情報に区間別に寄せられたユーザーからのご意見、ご要望 649 件をとりまとめて都道府県警察に情報提供を行った。



二輪車通行規制区間情報パンフレット

3 二輪車ユーザーのマナーアップ施策

「グッドマナー JAPAN RIDERS」公式サイトを運営を中心に、ライダーの安全やマナーに対する意識向上を図った。

(1) 協会の主催する G ミーティングならびに卸販社のイベント等にて「JAPAN RIDERS 宣言」を募集した。

(2) 道の駅 (1,059 箇所)、高速道路 P A・S A (800 箇所) に協力を依頼し、ポスターを全国の施設に掲出頂いた。



JAPAN RIDERS宣言募集活動

(3) アニメ「ばくおん!!」とのタイアップを図り、大阪・東京モーターサイクルショーで宣言募集活動を行う等、幅広い年齢層に訴求を行った。

(4) Facebook、Twitter などの SNS を利用した告知展開を行い、宣言数は累計で 36,000 件となった。

第4 二輪車の流通環境の整備促進

1 公正な取引の推進

一般社団法人自動車公正取引協議会（以下「公取協」という。）との連携のもと、「二輪車公正競争規約」

の普及促進を強化した。

- (1) 規約普及の為、公取協に未加入の二輪販売事業者に対し会員加入促進を図った。

平成 27 年度新規入会法人数は 42 社を数えたが、廃業などの理由で退会が 98 社あり期首加入法人数 5,200 社に対して期末加入法人数は 5,144 社（四輪・二輪併売店含む）となり前年同期比 56 社の減となった。

- (2) 全国 8 ブロックで開催された適正表示推進委員会の事務局を担うとともに、委員会にて課題や規約普及の取り組みについて意見交換し、今後の課題認識や情報の共有を行った。

2 二輪品質評価者（品質査定士）制度の普及

二輪車ユーザーに安心と信頼を提供する品質評価書（品質査定書）の発行資格である「二輪品質評価者（品質査定士）制度」を普及促進するために、各地のオートバイ事業協同組合と地区事務取扱所が連携し、卸販社及びオートバイ事業協同組合の認定トレーナーの協力を得て、二輪品質評価者講習会を全国で 55 回開催し、各地区で更新 429 人、新規 521 人、合計 950 人が受講し、有効資格者は全国で 6,097 人になった。

また、公取協会員の品質評価者在籍率の向上を目指し卸販社と未在籍店情報を共有し、未在籍店の受講促進を図り、主管店の在籍店率は 66.3% から 68.6% と 2.3 ポイント増加した。（※品質評価者在籍率は法人数にて算出。）

3 平成 27 年度 陸運関係功労者及び従事者表彰

二輪車業界の発展、活性化に役立てるため、二輪車業界に長年貢献された方を国土交通省が行う、陸運関係功労者及び従事者表彰の推薦団体として、推薦を行った。

推薦の結果、平成 27 年度は局長表彰で功労者表彰が 40 人、従事者表彰が 46 人、支局長表彰で功労者表彰が 40 人、従事者表彰が 9 人受賞した。

4 BIKE LOVE FORUM (BLF) への参画

経済産業省主導のもと 9 月 12 日、熊本県「熊本県民交流館パレア」にて開催された「第 3 回 BIKE LOVE FORUM in 熊本」に主催団体として参加し、実行施策である「グッドライダー喚起・育成」について活動報告を実施した。

また、BLF の活動を広く知って頂くため、他の主催団体と共同で BLF 公式サイトの上立ち上げを行った。

第 5 二輪車の楽しさを訴求する各種イベントの開催等

1 バイク月間イベントの開催

7 月 1 日から 9 月 30 日までのバイク月間に「交通安全」と「バイクの楽しさ」をテーマに、「交通安全パレード」「ツーリングイベント」等の実施に取り組んだ。

- (1) バイクの日中央イベント「～バイクの日スマイル・オン 2015～」を 8 月 19 日、東京都「ベルサール秋葉原」にて自工会との共催で開催し、12,000 人が来場した。



バイクの日スマイルオン 2015

また、内閣府の働きかけにより各地の道路電光掲示板に「バイクの日」を掲示し、8 月 19 日はバイクの日である事を訴求した。

- (2) バイク月間の主なイベント

開催日	イベント名
6 月 20 ～ 21 日	サマーツーリング in ルスツ
7 月 4 ～ 5 日	スマイルツーリング in 加賀温泉
7 月 12 日	フレンドシップ in 札幌（交通安全パレード）
8 月 22 日	バイクのふるさと浜松交通安全宣言パレード
9 月 12 ～ 13 日	2015 TOHOKU 夢ツーリング
9 月 19 日	広島中央警察署合同交通安全パレード
9 月 27 日	グッドライダー in 延岡（交通安全パレード）



北海道サマーツーリング in ルスツ

2 バイク月間 広報活動

- (1) バイク月間 2015 スペシャルサイトの開設
- (2) バイクの日新聞広告

新聞各紙にてバイクの日、バイク月間に関連する記事を掲載。業界・メディアと連携・協力し、バイクの日およびバイク月間の社会的認知向上を図った。

主な掲載新聞（一般紙）

また、各新聞社の協力によりバイク月間スペシャルサイトへ記事の掲載を行った。

新聞名	版名	エリア(県名)	発行日	記事体裁	内容
朝日新聞	東京本社版【朝刊】	【セット版】東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城・山梨・静岡	8月19日(水)	記事全10段	官民が連携し、事故ゼロへ「伊豆スカイライン」、「道志道」の事故撲滅活動
読売新聞	東京本社版【朝刊】	【セット版】東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城・山梨・静岡	8月19日(水)	記事全10段	バイクから広がる地方創生、バイクがもたらす経済効果
毎日新聞	東京本社版【朝刊】 中部本社版	【セット版】東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城・山梨・静岡	8月19日(水)	記事全10段	「3ない運動撤廃」へ向けての群馬県の取組み
日経新聞	全国版【朝刊】	【全国版】全国	8月19日(水)	記事全10段	二輪車駐車場問題への取組み
産経新聞	東京本社版【朝刊】	新潟・長野・山梨・静岡以東の東日本エリア	8月19日(水)	記事全10段	「乗せて指導する」熊本県・矢部高校の取組み

3 モーターサイクルショー

大阪モーターサイクルショーを主催するとともに東京モーターサイクルショーへの協力を行った。

第6 モーターサイクルスポーツの普及促進

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）ならびに地区 MFJ との連携強化により、モーターサイクルスポーツの普及促進を図るため、支所事務所に地区 MFJ 事務局を置き、MFJ の各種公認・承認競技会の一部運営を行い、全般の管理（カレンダー、ランキング、主催者資格、大会申請窓口）を行った。

また、地区内の施設や公認クラブの確保を図るとともに、競技者や競技役員、指導者の養成に協力を行うなど、地方選手権活性化の為、地域に根差した活動を推進した。

第7 広報活動の推進

1 Web サイトによる最新情報の発信

- (1) 社会への情報発信
- (2) ユーザーへの情報発信
- (3) 販売店への情報発信

平成 27 年度は、メールマガジンでの全国一斉情報発信を販売店 3,124 店へ 12 回。その他、各ブロック・県独自の情報発信を 105 回行った。

- (4) マスコミ関係者と連携した取り組み

平成 27 年度は、メールアドレスを登録して頂いたマスコミ関係者に対する情報発信を 153 人の方へ 15 回。賛助会員を中心に専門紙誌などには直接ご連絡して、「G 防登録推進キャンペーン」の実施案内や「グッドマナー JAPAN RIDERS 宣言」の収集など、各活動の推進に多大なご協力を頂いた。

2 日本二普協ニュースの発行

協会の活動内容について広く関係者への周知を図るとともに、理解を得るため、115 号（8 月）と 116 号（1 月）の 2 回発行し、販売店を中心に全国の関係者向けに約 6,000 部配布した。

また、116 号では内容をリニューアルし、新鮮さを出すと同時に制作費を削減した。

平成28年度事業計画

第1 二輪車安全運転普及活動の推進

1 店頭個別安全指導活動の推進

二輪車販売店（以下「販売店」という。）に対して、二輪車の購入者に当該地域の実情を踏まえた安全運転指導を効果的に実施してもらうため、安全運転指導のポイントを記述した資料等を配布し、その積極的な活用を働きかける。併せて安全運転指導終了後、購入者にグッドライダー宣言を求め、安全運転の確実な履行を図る。

また、卸販売会社（以下「卸販社」という。）と連携を強化して二輪車安全運転指導員（以下「指導員」という。）未在籍店に対し、指導員資格の取得を促し、指導員の計画的増員を図る。このため、販売店に対し、地方二輪車安全運転推進委員会が行う指導員審査の実施情報を発信する。

一方、指導員が在籍する販売店には、「指導員在籍店証」を店頭に掲示して、その周知徹底を図る。

2 各種安全運転講習会の開催

二輪車利用者の安全運転技能とマナーの向上を図るとともに、利用者相互の交流を深めるため、初心運転者や交通事故死者の多い年齢層等を対象とした安全運転講習会を計画的かつ効果的に推進する。

(1) グッドライダーミーティングを計画に応じた実施を図り、全国で121回開催する。

(2) 高校生等を対象とした安全運転講習会を積極的に推進する。

関係機関、団体（特に交通安全協会・二輪車安全運転推進委員会）と連携を図りながら、原付通学許可生徒の多い実施対象県を選定し、順次、高校生用原付安全運転リーフレットを活用した効果的な高校生安全運転実技講習会を開催し、全国に波及させていく。

また、原付通学許可校の生徒指導担当者に対して生徒指導に必要な研修を実施する。

さらに、これら講習会の開催と並行して、販売店指導員を中心としたリーダー指導員研修会を実施し、新たに作成した指導員マニュアルに基づいた指導方法の導入を促進する。

(3) 高齢者、女性に対する安全運転講習会を推進するとともに、関係団体の講習会等に協力支援等を行っていく。

(4) 地域二普協が実施する安全運転講習会に協力支援するとともに、活動実績が優良な地域二普協を表彰する。



警察主催の交通安全講習への協力

3 免許取得支援活動の推進

運転免許を取得しようとする時点での交通安全教育は、大きな効果が期待できることから二輪免許取得予定者に対し、必要な情報を提供して免許取得を支援し、安全かつ優良な運転者を育成する。

(1) Webサイトの内容を充実し、スマートフォン等を通して免許取得方法や教材等の情報をわかりやすく発信する。

また、卸販社と連携を図り、当協会が発行している「原付試験問題集」、「バイクと法令」等の教材販売を取扱う販売店の拡大を図る。

(2) 「原付試験問題にチャレンジ」（通称：ゲンチャレ）Webサイトについて、実技編を含めより一層の利用促進を図る。

(3) 「バイクと法令」「原付と安全運転」（警察庁監修）の利用促進を図る。

4 二輪車安全運転推進運動の実施

秋の全国交通安全運動の時期に併せ、9月11日（日）から9月30日（金）までの20日間、関係省庁の

後援と関係団体の協力、協賛を得て、全国の販売店参加の下に「二輪車安全運転推進運動」を実施する。期間中は以下の活動を重点的に推進する。

- (1) 街頭点検指導に併せて安全運転指導を実施する。
- (2) 「バイクの安全な乗り方」等を活用して店頭個別安全指導を実施する。
- (3) ヘルメットの正しい着用の推進とプロテクター装着を奨励する。
- (4) ポスター、チラシ等を活用した広報啓発活動を推進する。

5 関係機関・団体との連携活動の推進

関係機関、団体と緊密に連携して、各種交通安全運動や交通安全大会の後援、協力、支援を行うとともに、二輪車安全運転指導員の養成などに積極的に協力する。

- (1) 春・秋の全国交通安全運動期間中に開催される一般社団法人日本自動車会議所主催の交通安全をテーマにした体験型イベント「交通安全。アクション2016」に参画し、二輪車の交通安全意識の高揚と啓発を図る。

この他、関係機関・団体が行う各種交通安全運動、講習会、イベント等に参画し、協力、支援する。

- (2) 第49回二輪車安全運転全国大会、同県予選大会を後援、協力し、県予選大会を含む大会の活性化を図るとともに、大会成績優秀者に対して記念品を授与する。

- (3) 二輪車安全運転特別指導員・指導員の審査及び研修会に協力する。

中央及び地方の二輪車安全運転推進委員会が実施する審査及び研修会に講師を派遣するなど必要な協力を行う。

- (4) 地域二普協との連携強化を図る。

地域二普協が行う安全運転講習会、街頭点検指導、イベント等を積極的に支援し、より一層の連携強化による地域交通安全活動の活性化を図る。

6 ポスター、チラシ等の作成、配布



交通安全。アクション2016

第2 二輪車防犯活動の推進

グッドライダー・防犯登録（以下「G防登録」という。）及び二輪車盗難照会システムの普及促進を図り、二輪車盗難防止と盗難二輪車の早期発見、市場流通の防止、被害回復及び二次犯罪の防止を図る。

1 グッドライダー・防犯登録（以下「G防登録」という。）の推進

- (1) G防登録の加入促進

年間30万件を超える登録数をめざす。

- ア G防登録推進キャンペーンの実施
- イ 関係団体への働きかけによるG防登録実施店・工場の新規開拓
- ウ G防登録計画の策定と達成に向けた協力の要請
- エ 大口法人を対象とした加入促進
- オ G防登録制度の有効性の広報強化

- (2) G防登録制度の適正な運用

- (3) 年間表彰の実施によるG防登録意識の高揚

G防登録制度の推進について優秀である支所及びG防登録実績が優良な販売店に対し表彰を行い、登録率向上に向けた意識高揚を図る。

G防登録推進キャンペーン

2 二輪車盗難照会システムの利用促進

警察が保有する盗難二輪車情報の提供を受けて二輪車盗難照会システムを運用し、同システム加入者からの照会に応ずるとともに、同システムの的確な運用を図る。また、同システムに未加入の販売店等に対しては、引き続き加入促進を図る。

卸販社と取引のない販売店については、盗難照会システム利用要件として年間一定以上のG防登録実績が必要である旨の意識の徹底を図る。

3 G防登録実施店名簿の整備

4 個人情報保護の徹底

第3 二輪車の利用環境の改善

1 二輪車の駐車場改善の促進とユーザーの駐車場利用啓発

(1) 行政への働きかけ

一般社団法人日本自動車工業会と全国オートバイ協同組合連合会と連携し、国土交通省・経済産業省・警察庁など関係省庁及び都道府県警察・自治体に対して、働きかけを継続して行く。

(2) 駐車場関連団体・事業者への働きかけ

一般社団法人全日本駐車協会、一般社団法人日本パーキングビジネス協会、公益社団法人立体駐車場工業会など駐車場関連団体と情報交換を行い、民間駐車場事業者へ二輪車駐車場整備への参入を働きかけるなど二輪車駐車場整備への協力を求める。

(3) 二輪車ユーザーに対する駐車場利用啓発

「全国バイク駐車場案内」Webサイトの活用を広く呼びかけるとともに、駐車場利用を啓発する。

2 二輪車通行規制区間に対する要望収集と警察への情報提供

Webサイトに全国の二輪車通行規制区間情報を掲載し、ユーザーから規制に対する要望を収集する。また、ユーザーからのご要望を警察庁、都道府県警察へ情報提供する。

なお、二輪車通行規制区間情報は都道府県警察にご協力いただき年度更新を行う。

3 グッドライダー喚起・育成

「グッドマナー JAPAN RIDERS」公式サイトを運営を中心にライダーの安全やマナーに対する意識の向上を図り、広く社会における二輪車のイメージアップを図る。

(1) バイク月間イベントや安全運転講習会等において積極的に宣言を募集する。

(2) SNSを利用した情報発信と拡散を図り、広く一般にアピールする。

4 二輪車の利用環境改善のために必要な情報収集

超小型モビリティやEV自動車の普及状況、自転車対策の状況など都市交通政策、道路政策の動向、賃貸マンション・アパートの二輪車駐車場整備状況等に注視し、今後の二輪車の利用環境改善施策のために必要な情報収集を行う。



二輪車通行規制
道路標識



JAPAN RIDERSポスター

第4 二輪車の流通環境の整備推進

1 公正な二輪車取引の推進

(1) 一般社団法人自動車公正取引協議会（以下「公取協」という。）へ未加入の販売店に対する入会促進を継続し、「二輪車公正競争規約」の遵守による適正表示が推進されるよう活動する。

(2) 規約に基づく適正表示推進のため、「二輪車公正競争規約」の普及定着に向け卸販社営業「準規約指導員」の協力を得て、公取協チェックアドバイス活動に協力する。

(3) 公取協会会員店証及び二輪品質評価者（品質査定士）在籍店証の店頭掲示により、信頼できる販売店であ

ることをお客様へPRするとともに、公取協・二輪情報誌・会員店の Web サイト上でのPR活動を展開し、より効果的な広報活動を推進する。

2 二輪品質評価者（品質査定士）制度の普及

二輪車ユーザーに安心と信頼を提供する品質査定書、品質評価書の発行資格である「二輪品質評価者（品質査定士）制度」の普及促進のため、関係団体と協力して二輪品質評価者講習会を全国で開催し、信頼される販売環境づくりに寄与する。

3 陸運関係功労者及び従事者表彰

国土交通省、地方運輸局に対して、二輪車業界に長年貢献された方の推薦を行う。

第5 二輪車の楽しさを訴求する各種イベントの開催等

1 バイク月間

(1) イベントの開催

バイク月間（7月～9月）において、「交通安全」と「バイクの楽しさ」をテーマにして、バイクの日中央イベント「～バイクの日スマイル・オン2016～」開催の他、バイク月間の基本施策である、交通安全パレード、ツーリングイベントを全8ブロックで実施する。

(2) 広報活動

8月19日のバイクの日を中心に、一般紙、専門誌、Webサイトなどへバイク情報が掲載されるよう、業界・メディアと連携した展開を進め、バイク月間の社会的認知向上に繋げる。



北海道サマーツーリング(2015)

2 モーターサイクルショー

大阪モーターサイクルショーを主催するとともに東京モーターサイクルショーへの協力を行い、団体ブースに出展し協会事業の訴求活動を行う。

第6 モーターサイクルスポーツの普及促進

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）ならびに地区MFJとの連携強化により、更なるモーターサイクルスポーツの普及促進を図るため、支所事務所に地区MFJ事務局を置き、MFJの各種公認・承認競技会の一部運営を行い全般の管理（カレンダー、ランキング、主催者資格、大会申請窓口）を行う。また、地区内の施設や公認クラブの確保を図るとともに、競技者や競技役員、指導者の養成を行うなど、地域に根差した活動を推進する。

第7 BIKE LOVE FORUM (BLF) への参画

経済産業省ならびに関係自治体、業界団体にて主催するBIKE LOVE FORUM (BLF) に参画し、「二輪車産業政策ロードマップ」の実行施策である「グッドライダー喚起・育成」、「安全運転啓発・教育」等に取り組む。

第8 広報活動の推進

当協会の諸活動及び二輪車に関わる情報の発信を継続し、当協会に対する支援・協力を得る。

1 Webサイトによる最新情報の発信

掲載情報を新しいものにし、見やすく解かりやすいものに改善しながら、二輪車環境整備のための情報を発信する。

2 日本二普協ニュースの発行

諸活動の内容について広く関係者へ理解と参画、協力を得るため、定期発行を継続する。

平成27年度活動優秀都府県地区表彰

定時総会終了後に「平成27年度優秀都府県地区表彰式」が開催され、山梨県、札幌地区に警察庁交通局長・生活安全局長と日本二普協会長の三者連名表彰、広島県、滋賀県、長崎県、兵庫県に日本二普協会長表彰が授与されました。

●警察庁交通局長、警察庁生活安全局長、日本二普協会長、三者連名表彰



山梨県



札幌地区

●日本二普協会長表彰



広島県



滋賀県



長崎県



兵庫県

受賞者代表謝辞

山梨県 荻原公明会長

ただ今、栄えある賞をいただき、ありがとうございます。

本日、表彰をいただきました各県地区二輪車普及安全協会を代表しまして、お礼の言葉を申し上げます。

私どもは、日頃より、お客様に対する安全・安心、そして二輪車を取り巻く環境の向上に取り組んでおります。

グッドライダー・防犯登録制度の普及、グッドライダーミーティングの開催に関しましては、警察本部等のご指導を賜り、私どもの最も重要な責務として推進しているところでございます。

今回の受賞を機に、グッドライダー・防犯登録制度の普及促進、グッドライダーミーティングのさらなる充実に一層努めてまいります。

さらに、二輪車盗難照会システムの加入促進、駐車場確保や公正な取引環境の整備を図り、本日の受賞に恥じない成果をもってお応えする所存であります。

終わりに警察庁はじめ、関係各位のいままで以上のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに、本日ご臨席の皆様方の益々のご健勝とご発展を祈念いたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。

ありがとうございました。



定時総会後の意見交換会ご挨拶

日本二輪車普及安全協会 伊東孝紳会長



皆さん今晚は、意見交換会の開催にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、井上剛志警察庁交通局長様をはじめ警察庁の幹部の皆様、また二輪車関係団体の皆様には、ご多忙中にもかかわらず多数ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、先ほど、活動実績優秀県として警察庁の交通局長、生活安全局長と日本二普協会長の三者連名表彰を受賞されました山梨県、札幌地区をはじめ、受賞されました県の皆様に、心よりお祝いを申し上げますとともに、今後、尚一層のご活躍をお祈りいたします。

さて、本日定時総会では、皆様方には熱心なご審議を賜り、予定していました全議案のご承認をいただきました。この場をお借りしまして、お礼を申し上げます。

新年度におきましては、本部・支部が一丸となって、関係機関団体の皆様との連携をより親密なものとし、諸活動を一層強化していくこととしております。引き続き皆様方のご支援ご協力とご指導をお願いする次第であります。

本席は、日頃、お仕事が忙しく、お話し合いをする機会もなかなかお取りいただけない皆様方に、折角このようにお集りいただきましたので、限られた時間ではございますが、お互いに意見交換の場としていただければと思ひまして、設けさせていただきました。時間の許す限りご歓談いただければと思っております。

終わりに、ご出席の皆様のご健勝と益々のご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

ご来賓

日本自動車工業会二輪車特別委員会 世古俊晴二輪車企画部会長



日頃より二輪車産業政策ロードマップにおける交通安全施策を積極的に展開頂き有難うございます。「グッドマナー JAPAN RIDERS 宣言」「原付通学許可高校の研修支援」「高齢者講習会」など一層の活動連携をよろしくお願い致します。

また、「ヘルメットの適正着用」「胸部プロテクターの着用推進」、「バイクの日交通安全パレード」をはじめ、日本自動車工業会の活動にご理解ご協力を賜り大変感謝しております。有難うございます。

さて、国内の二輪車新車需要は40万台弱と原付の落ち込みがあり全体的には足踏み状態が続いていますが、原付二種以上のスポーツ車の販売は安定的に推移し、保有台数が増加しております。自工会では、こうした市場やお客様の変化をとらえ、魅力ある新商品の導入はもちろんのこと、若者・新規層が二輪車に関心を持っていたけりよう、情報発信のあり方を研究しております。

一方、交通安全政策に関する国や自治体の動きとして、本年3月発表の「第10次交通安全基本計画」に、高校生の二輪車安全指導は、実践的な教育の充実を図るとの方針が示されました。

また、群馬県では、昨年12月「交通安全条例」が施行され、そのアクションプログラムでは、関係団体と連携し安全教育に取り組むこととしております。

日本自動車工業会では本年度、こうした動きをふまえて、高等学校における二輪車交通安全教育の実態調査、高校現場の要望収集をおこない、安全教育支援事業の内容充実を検討して参ります。

二輪車の安全運転普及活動を粘り強く続けていくことは、二輪車に対する危険イメージや事故が減少し、その結果、二輪車の社会的プレゼンスが向上し、健全な二輪車市場の発展に繋がっていくものと考えますので、引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

警察庁交通局長からサミットへの協力に謝意

「伊勢志摩サミット」は5月26日・27日に三重県志摩市で開催されました。

また、関係閣僚会合が4月10日・11日に広島県広島市で開催された外務大臣会合を皮切りに、9月24日・25日に長野県北佐久郡軽井沢町で開催された交通大臣会合まで、全国10都市において開催されました。

期間中は各会場を中心に交通規制や車両検問、各種施設で手荷物検査が行われるなど、大がかりな警戒強化が行われましたが、無事終えることが出来たことに対し、警察庁井上交通局長から御礼の挨拶状を頂きました。

警察庁 井上交通局長の御礼の挨拶状

謹啓

初夏の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。平素から、警察行政各般にわたり格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび三重県志摩市において開催されました伊勢志摩サミットの際には、大規模な交通規制を実施いたしました。自動車の御理解と御協力を得ることができ、サミット関連行事の円滑な実施と交通混雑による国民生活への影響を最小限にとどめるところの御目的を達成することができました。

これもひとえに、皆様方の御協力の賜物と深く感謝申し上げます。

今後とも警察活動に対して、お力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

まずは、略儀ながら書中をもって、御礼申し上げます。

平成二十八年六月吉日 謹白

警察庁交通局長
井上 剛志

一般社団法人
日本二輪車普及安全協会会長 殿

一般社団法人日本二輪車普及安全協会 役員名簿

□ 理事	会 長	伊東 孝紳	本田技研工業株式会社	非常勤
	専務理事	佐藤 忍	一般社団法人日本二輪車普及安全協会	常 勤
	常務理事	太田 昭雄	一般社団法人日本二輪車普及安全協会	常 勤
	理 事	加藤 千明	株式会社ホンダモーターサイクルジャパン	非常勤
	理 事	大浜 利和	ヤマハ発動機販売株式会社	非常勤
	理 事	濱本 英信	株式会社スズキ二輪	非常勤
	理 事	寺西 猛	株式会社カワサキモーターズジャパン	非常勤
	理 事	赤坂 正人	株式会社ホンダモーターサイクルジャパン	非常勤
	理 事	奥村 浩二	ヤマハ発動機販売株式会社	非常勤
	理 事	池本 憲治	株式会社スズキ二輪	非常勤
	理 事	原 淳一郎	株式会社カワサキモーターズジャパン	非常勤
	理 事	青木 康夫	一般社団法人日本自動車工業会	非常勤
	理 事	徳永 泉	一般社団法人全国軽自動車協会連合会	非常勤
	理 事	大山 憲司	一般財団法人全日本交通安全協会	非常勤
	理 事	田中 法昌	公益財団法人全国防犯協会連合会	非常勤
	理 事	藤井 龍光	一般社団法人日本二輪車普及安全協会	常 勤
	理 事	三澤 禎人	一般社団法人日本二輪車普及安全協会	常 勤
□ 監事	監 事	浅見 俊之	本田技研工業株式会社	非常勤
	監 事	篠宮 孝彦	ヤマハ発動機株式会社	非常勤
	監 事	岩田 邦泰	スズキ株式会社	非常勤
	監 事	米満 資明	川崎重工株式会社	非常勤

平成28年6月22日付全役員改選（理事17名、監事4名）



「2016バイクマイレージin北海道」をご存知ですか？ グッドライダー・防犯登録に加入した方にもポイントが付きます

北海道ブロックにおいて実施されている「2016 バイクマイレージ in 北海道」をご紹介します。

この施策は、北海道ブロック独自のもので、二輪車ライダーの「交通安全意識の向上」と「安全運転の習慣付け」並びにG防登録制度推進を図ることを目的に2001年から毎年実施されています。

二輪車ライダーは、道内協賛販売店からエントリーし（エントリー料500円）、対象期間中に“バイクの走行距離ポイント”、“イベント参加ポイント”及び“G防犯加入ポイント”が設定条件を満たせばポイントが付与され、その合計ポイント数に応じ賞品が授与されるものです。昨年は136名のライダーがエントリーし、106名に賞品が授与されました。

今年度の総会・表彰式において、北海道が活動実績優秀地区として表彰されましたが、このマイレージ施策がその実績向上に大きく寄与しているものと思われます。

今年もマイレージキャンペーンは、下記の要領で実施されています。

1 対象期間

2016年5月20日（金）～9月30日（金）

2 付与されるポイント数

- ① 走行距離1Kmにつき1ポイント
 - ② イベント参加ポイントとして、立ち寄りイベント600ポイントと参加ポイントは1,000ポイント
 - ③ グッドライダー・防犯登録に加入した方には600ポイント
 - ④ 立ち寄り及び参加イベントいずれも、タンデムで参加した場合は、300ポイントをプラス
- 以上のようにポイントを設定しています。

3 賞品

3,000ポイント以上のポイント数に応じてバイク用品券が贈呈されます。

詳しくは北海道ブロックHPをご覧ください。



参加証ステッカー

販売店スタッフ記入・捺印欄		2016バイクマイレージin北海道 [5/20~9/30]		STAMP 参加イベント=1000ポイント		G防犯登録 =600ポイント							
開始 月 日 走行距離 (A) Km	店名スタンプ	走行距離ポイント (S・A)	G防犯登録ポイント	6/11	6/12	7/10	7/17	8/21	8/21	登録番号			
終了 月 日 走行距離 (B) Km	店名スタンプ	イベントポイント	トータル獲得ポイント	5/29	6/5	6/12	7/3	9/4	*グッドライダー等に指定されている方は、登録番号を記入してください。				
※複数の車両を使用している場合は走行距離を合算してください		札幌地区二輪車普及安全協会		*スタンプでの参加は全ての対象イベントでプラス1000ポイント		速成ポイントに直して(バイク用品券をプレゼント) [3,000・5,000・10,000・15,000・20,000ポイント]		参加者記入欄					
				STAMP 立寄りイベント・販売店イベント=600ポイント				氏名 () 姓 () 名 () 姓 () 名 ()					
				5/29		6/5		6/12		7/3		9/4	
				6/11		6/12		7/10		7/17		8/21	
				6/12		7/3		9/4		氏名		性別	
				7/10		7/17		8/21		エントリーチーム		参加者名(後述する車両を全て記入下さい)	
				7/17		8/21		登録番号					
				8/21		登録番号							
				登録番号									

マイレージカード (表)

マイレージカード (裏)

「グッドライダー・防犯登録推進キャンペーン」を終えて

グッドライダー・防犯登録推進キャンペーン（以下「キャンペーン」という。）を本年3月1日から6月30日までの間、全国のホンダ・ヤマハ・スズキ・カワサキの4銘柄会のご後援を頂き、G防登録取扱店及び新規販売店のご協力を得て全国展開したところであります。この間、関係各位から賜りましたご支援ご協力に対して、厚くお礼申し上げます。

G防登録制度の有用性は“言わずもがな”ではありますが、この制度は登録された二輪車のデータを警察庁に提供し、警察庁においてはそのデータを全国の警察本部とのオンライン網に乗せて都道府県警察がその活動において24時間、不審車両のチェックができ、万一の盗難でも早期発見、また被害回復が図れるもので二輪車の盗難防止に大きな効果があります。また、防犯登録を行ったユーザーは、「グッドライダーミーティング」に参加出来、運転の不安解消、安全運転技能に磨きをかけることも出来ます。

こうした二輪車の防犯のみならず安全にも大きな力を発揮するG防登録ですが、二輪車市場の厳しい情勢の中で、G防登録件数も同様に減少傾向がみられ、これに歯止めをかけるべくキャンペーンを展開したところであります。

キャンペーン期間中の登録実績は、7月末までに当協会のデータベースに登録されたキャンペーン期間中の登録となっていますので、本誌原稿締切り時点では未だキャンペーン期間中の登録実績を集計出来る時に至っておりません。本誌において実施結果をご報告することが出来なくて大変残念です。

「第41回二輪車安全運転推進運動」の実施について

二輪車の利用者の安全を確保し、安全で快適な道路交通社会の実現に資するため、関係省庁の後援を得て、家庭・学校・職場・関係諸団体と連携を密にし、二輪車の交通事故防止並びに二輪車の盗難予防及び被害早期回復を図ることを目的に次の通り運動を実施致します。

1. 期間

平成28年9月11日(日)～9月30日(金)までに20日間

2. 運動の重点

「交通ルールの遵守・マナーアップ」を重点とした安全運転の指導

3. 運動の具体的推進項目

- ①ヘルメットの正しい着用方法の指導啓発とプロテクター着用の推奨
統一標語として、

「あごひも、しっかり締めて（指一本入る程度）、正しくヘルメット
and 胸部プロテクターが胸部・腹部をガードする」

- ②グッドライダーミーティングの開催

- ③店頭個別安全指導活動の実施

- ④街頭点検指導活動の実施

- ⑤本推進運動のポスター・チラシ等の掲出・配布

4. 運動推進に当たっての留意事項

- ①関係各機関・団体と連携し、それぞれの特色を活かした国民総ぐるみ運動として推進する。

- ②本推進運動用のポスターや日本二普協のホームページの活用等のほか、各種イベント会場等における広報活動や新聞、テレビ、ラジオ等の広報媒体との連携等、各種広報活動を積極的に推進する。

交通事故抑止に向け、過去最多121回開催 ますます充実!!

二普協活動の重点施策であるグッドライダーミーティング（以下「Gミーティング」という。）は、本年度は全国で121回（昨年度実績115回）、動員目標4,425人（同4,220人）を計画し、積極的に実施することとされています。また、本年度は、女性ライダー限定のレディスミーティングを強化してまいります。

本年度のレディスミーティングは、昨年度開催した、千葉県、東京都、富山県、兵庫県、愛媛県、大阪府（本年度は2回）のほか、新たに宮城県、茨城県、埼玉県、神奈川県、福井県、愛知県、大分県で開催、又は開催することとなり、計14回（昨年度実績6回）と過去最多となります。女性指導員による指導、座談会、メイク講座など各県のホスピタリティあふれる指導内容は女性層に参加してみたいという意欲を盛り上げ、たいへん好評となっています。また、高齢者向けのGミーティングも、宮城県2回、奈良県1回と計3回開催を予定しております。

レディス初開催【宮城県】



レディス初開催【愛知県】



高齢者【奈良県】



<Gミーティングの狙い>

Gミーティングは、グッドライダー宣言（グッドライダー・防犯登録をした方に行っていただく安全運転宣言）を行った方のための誰でも気軽に参加できる体験型の実技訓練です。上達する楽しさを通じ個人の規範意識に訴えかけ、安全行動を自ら導きだせる安全運転講習を目指しています。この体験型講習は、運転技術の向上とともに、自己の技量を自覚・把握させ、混合交通の中においても危険要因への感受性を高めることで、交通ルールとマナーを重んじるグッドライダーを育成し、二輪車事故の防止に寄与しています。

平成18年からの本格導入以降、平成28年6月末日現在、全国で延べ開催数921回、受講者数35,572人に及んでおり、ライダーから高い支持をいただくとともにGミーティングの狙いである、初心者やリターンライダー層の動員も着実に伸ばしております。定例となりました受講者からの全国統一アンケートは、昨年度111会場、3,653名から回答いただき、Gミーティング全般にわたってその評価を分析しました。その結果を基に、更なる改善・工夫に繋げてまいります。

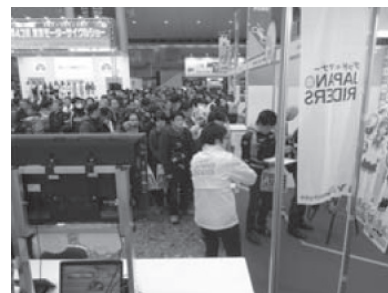
平成28年度Gミーティング都道府県別開催計画・実績

二普協	開催計画	動員目標	開催中止	動員実績	内女性	初参加	指導員数	警察数	内白バイ	二普協	安協	平成28年6月末日現在													
												二普協	開催計画	動員目標	開催中止	動員実績	内女性	初参加	指導員数	警察数	内白バイ	二普協	安協		
北海道	6	300	3	182	32	35	37			10	6	滋賀	2	60	1	36	8	8	5	6	4	2	1		
青森	1	35										京都	2	60	1	36	9	12	5	3	2	3	2		
岩手	3	90	1	45	6	13	14			2	1	大阪	9	420	3	183	48	56	26	4	1	7	9		
宮城	5	180	2	78	29	20	27	8	8	2	6	兵庫	3	100	1	38	9	10	5	5	4	3	2		
秋田	1	25										奈良	3	90	2	63	12	27	11	8	2	9	3		
山形	1	30	1	22	2	4	7	1	3	4	3	和歌山	2	60	1	28	6	22	5	1		3	3		
福島	1	35										鳥取	2	50	1	32	5	16	10	4	3	2	4		
東京	5	230	2	122	17	38	29	8	2	5		島根	1	40	1	49	9	35	5			2	2		
茨城	3	110	1	64	11	23	14	6	4	2	1	岡山	2	60	1	47	8	20	17	1		1	4		
栃木	2	100	1	62	9	23	15	5	3	2	2	広島	3	90	2	50	10	27	16	7	4	5	5		
群馬	2	110	1	64	8	25	13	9	4	2	10	山口	1	35											
埼玉	5	270	2	155	23	42	33	19	13	4	2	徳島	1	30											
千葉	6	330	1	81	11	21	24	6	4	2	4	香川	1	30	1	37	2	12	8	4	4	2			
神奈川	5	210	1	59	10	17	21	4	2	2	2	愛媛	2	70											
新潟	2	120	1	68	15	18	15	3	3	2	1	高知	1	40											
山梨	4	90	2	78	15	26	19	2	2	5		福岡	1	20											
長野	2	65	2	59	5	28	22	8	3	4	7	佐賀	1	15											
静岡	2	100	1	47	3	17	9	1	6	3		長崎	2	45	1	20	2	8	16	7	4	4	10		
富山	6	165	3	80	13	18	29	8	8	18	3	熊本	2	40	1	16	3	7	3			2	1		
石川	1	20										大分	6	120	3	53	3	18	23	5	4	8	4		
福井	2	55	1	21	2	7	7	3	2	2	1	宮崎	1	20											
岐阜	1	50	1	47	6	12	9			3		鹿児島	2	40	1	11	4	11	5	1	1	4	2		
愛知	3	80	2	52	29	27	15	2	4	5		沖縄	1	40	1	30	8	8	9			4	5		
三重	1	50	1	48	6	25	9	9	8	2	2	合計	121	4,425	52	2,157	398	736	537	158	112	142	108		
*レディス:宮城、東京、茨城、埼玉、千葉、神奈川、富山、福井、愛知、大阪2												計画進捗率		43%		49%									
兵庫、愛媛、大分 計14回												前年進捗率		47%		53%									
*高齢者:宮城2、奈良1 計3回																									

アニメ「ばくおん!!」とのタイアップで 「グッド♥マナー-JAPAN RIDERS」の認知度を拡大

2014年3月よりライダーのマナーアップを図るため、ライダー自身が自らの言葉で、マナーや安全運転を宣言頂く、「グッド♥マナー-JAPAN RIDERS」は、専用Webサイトの宣言数が皆様のご協力により4万件を超える事が出来ました。とくに今年3月からは、いま若者に人気のアニメ「ばくおん!!」とのタイアップにより、各方面より多くの反響を頂き、幅広い世代へ認知頂く事ができたものと思います。

大阪と東京で開かれたモーターサイクルショーでは、マナーアップ宣言をしようという人たちで、協会のブースに行列ができたほどでした。



また今回、「ばくおん!!」とタイアップしたキャンペーン・ポスターも大好評で、国内4メーカーをはじめ、全国の二輪車販売店3,200店、高速道路のサービスエリア、道の駅、運転免許センター、運輸支局、指定自動車教習所ならびに二輪車関係団体に配布しPRを図っております。



バイクのイメージアップを図るには、ライダー一人ひとりの心がけが欠かせません。未だ宣言されていない方はもちろん、宣言された方もぜひ下記URLへアクセスの上、マナーアップ宣言をお願い致します。

<http://www.japan-riders.jp/>

SMILE ON
BIKER MONTHLY 7.2.9
2016

バイクの日 スマイル・オン 2016

Kawasaki SUZUKI HONDA YAMAHA

入場
無料

日時 | 2016年8月21日(日) 11:00~16:00

場所 | ベルサール秋葉原

8月19日は、バイクの日

8月21日(日)に「ベルサール秋葉原」にて、交通安全意識の啓発と『バイクの日』の社会的認知の向上を図るとともに、バイクの魅力を感じていただくために、『バイクの日スマイル・オン2016』を開催致します。
秋葉原の中央通りを警視庁・女性白バイ隊「クイーンスターズ」の先導で、女性ライダーによる交通安全パレードの実施や、国内4メーカーの最新車両、白バイ展示、警視庁交通安全啓発コーナー、アニメ「ばくおん!!」PRコーナー、熊本県PRコーナー、アニメ「ばくおん!!」とコラボした「グッドマナー JAPAN RIDERS 宣言」の募集コーナーの他、様々なステージなど、楽しいイベントが盛り沢山! 皆様のご来場お待ちしております!

※ジャパンライダーズ宣言(マナーアップ宣言)をしてくれた方(先着200名様)に『JAPAN RIDERS x ばくおん!!』限定オリジナルステッカーをプレゼントします。
※スケジュール内容は、諸般の事情により変更もしくは中止になる場合がございます、あらかじめご了承ください。



バイクの日
一日
親善大使



中野 真矢さん
元世界選手権MotoGPライダー

11:00~12:00

開会式&交通安全パレード

秋葉原駅前の中央通りを 警視庁女性白バイ隊「クイーンスターズ」を先導に、約60人の女性ライダーによるパレードを実施します。

12:30~13:00

アニメ 「ばくおん!!」ステージ

バイクメーカーによる全面協力の下、「女子高生×バイク」で話題を呼んだ、アニメ「ばくおん!!」の出演声優である内山夕実さん(天野恩紗 役)、木戸衣吹さん(中野千雨 役)と、監督の西村純二さんをお迎えして、制作時のエピソードや作品の魅力について語っていただきます。



© おりもとみまな(ヤングチャンピオン誌) / ばくおん!! 製作委員会



内山 夕実さん
(天野恩紗 役)



木戸 衣吹さん
(中野千雨 役)

13:30~14:00

警視庁交通安全ステージ

ゲストにタレントの「水野裕子さん」をお迎えし、警視庁女性白バイ隊クイーンスターズ・ピーポ君による「交通ルールを楽しく学び安全運転意識向上!」のステージをお届けします。



水野 裕子さん
タレント・スポーツキャスター

14:30~15:00

熊本地震復興応援ステージ

「くまモン」が応援隊長として駆け付け、来場者に熊本地震の被災地支援に対する感謝の気持ちを伝えるとともに、皆様とともに熊本にエールをお届けします。

15:30~16:00

『バイクの日』スマイル・オン2016 女性ライダーミーティング

BS11「大人のバイク時間 MOTORISE」による女性ライダートークステージ。女性目線での「バイク」とは、またその魅力についてトークし、コミュニケーションの場として交流を深めて頂きます。最後に参加者と来場者との記念撮影で「バイクの日」を締めくくります。



小玉 絵里加さん
全日本トライアルライダー



延時 成実さん
モデル・タレント



下川原 利紗さん
モデル・タレント

■主催：一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本二輪車普及安全協会

■後援：内閣府、警察庁、警視庁交通部、上野警察署、万世橋警察署、一般財団法人全日本交通安全協会、一般社団法人全国軽自動車協会連合会、一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会

普通会员である二輪車関連団体及び特別会員のご紹介

日本二普協の会員は、普通会员、賛助会員及び特別会員から成っています。

このうち普通会员は、二輪車の4メーカー、4卸販社、15地域卸販社及び4二輪車関連団体から成っています。

今回はこれらのうち、普通会员である4二輪車関連団体及び特別会員についてご紹介を致します。

普通会员

一般社団法人 日本自動車工業会

二輪車市場の活性化に向けて

一般社団法人日本自動車工業会（以下、自工会）は、乗用車、トラック、バス、二輪車など国内において自動車を生産するメーカー14社によって構成されています。

自工会では、二輪車関係団体や地方自治体と協働で、二輪車産業の成長戦略として「二輪車産業政策ロードマップ」を取りまとめ、経済産業省から支援を得て発足した「BIKE LOVE FORUM」(9月17日(土)兵庫県神戸市にて開催予定)にて二輪車市場の活性化に向けた取り組みなどを、官民一体で議論しています。

また、日本二輪車普及安全協会とともに、バイクの交通安全、楽しさなどを広く訴えることを目的に「バイクの日スマイル・オン」を開催しており、今年は8月21日(日)に前回盛況であった東京・秋葉原において、若者や新規層にもバイクの魅力を発信していきます。

来年秋には、「第45回東京モーターショー2017」の開催を予定しており、一人でも多くの方々に「クルマ・バイクの夢、楽しさ」を感じてもらえるような活動を今後も継続して参ります。



普通会员

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

廃棄二輪車取扱店の管理を推進

一般社団法人全国軽自動車協会連合会（以下、全軽自協）は、軽四輪・軽二輪の流通確認業務を基幹事業とし、盗難・詐欺等による不正な届出を防止し、流通改善や安全確保、利用環境の改善等に努めています。

軽二輪につきましては、運輸支局の代行業務として全国の全軽自協事務所の多くで届出窓口業務を行っており、全国各地で届出された軽二輪の情報をデータ化して本部にて販売台数や保有台数の統計を作成し、公表しています。

また全軽自協は、環境省より広域廃棄物処理指定業の指定を受けて、廃棄物処理業の許可を得ることなくユーザーの廃棄二輪車を収集・運搬することができる、廃棄二輪車取扱店（全国約8,500店）の管理や広報活動等を推進しています。国内二輪メーカー4社と輸入事業者等が協力して自主的に取り組んでいる「二輪車リサイクルシステム」の活動においても、廃棄二輪車取扱店は重要な役割を果たしています。廃棄二輪車取扱店のうち約5,000店は全軽自協のHPで公表しており、2016年4月には検索システムを改善して、より検索性の高いHPへと変更しました。

他にも自賠責の保険制度の更新・加入促進等、様々な二輪車の活動に寄与しています。



普通会员

一般社団法人 日本自動車整備振興会連合会

定期点検整備の実施率向上を推進

一般社団法人日本自動車整備振興会連合会（以下、日整連）は、自動車の点検・整備を通して「安全・安心の確保」と「環境保全」を目指し、多くの事業を推進しています。その中で二輪車業界とは、各地の整備振興会で実施している二輪車の整備士資格取得のための講習会や、認証整備工場との関係で多くの係わり合いがあり、お世話になっています。

日整連では定期点検整備推進の事業を重要な位置付けで実施しています。現在、二輪車を含む車両は、日頃の定期的なメンテナンスを行うことでメーカーが考えている安全が担保されていますが、定期点検整備の実施率は必ずしも高くない状態です。特に二輪車では、一旦事故が発生すると四輪車と違って直接体にダメージを受ける可能性が高いため、より定期的な点検・整備で万全な状態を維持することが必要と思われます。

日頃使用されている二輪車のトラブル発生を防止するためには、日頃からお付き合いのあるマイショップ（販売店・修理工場）で、定期的な点検整備を行っていただきたいと思います。また、販売店・修理工場におかれましてはこの入庫の機会を活用して、ユーザーから何でも相談をいただけるような信頼関係を築き上げていただきたいと思います。

普通会员 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会

日本国内のモーターサイクルスポーツを統括

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下、MFJ）とは、日本国内のモーターサイクルスポーツを統括する機関として1961年（昭和36年）に設立され、世界統轄機関である国際モーターサイクリズム連盟（FIM）に加盟する唯一の日本代表機関です。

MFJはレースに特化しているイメージが強く、一般のバイクユーザーから遠い存在になっていることから、近年は参加しやすい競技やイベントに力を入れています。

MotoGP日本グランプリ、鈴鹿8時間耐久レース、トライアル世界選手権、各種目の全日本選手権など3月から11月にかけて日本全国でレースが開催されています。全日本ロードレース・モトクロス・トライアルは全戦無料BSチャンネル「BS12」で毎週土曜日夜7時から放映しています。今後はバイクユーザーがレースに関心を持ち、販売店の皆様が顧客サービスに活用頂ける様な施策を検討して行きたいと考えています。

250cc市販スポーツバイクの活況を受けて、JP250（JP＝ジャパン・プロダクション）クラスを今年からスタートしました。初年度にも関わらず多くの参加者を集めており、今後力を入れて行きたいと思っております。

オートバイと社会の繋がりというテーマのもとバイクユーザーがツーリングを楽しむと同時に復興に向けた応援になることを願い昨年「東北復興応援ツーリング2016」を開始しました。今年は8月1日から10月31日を期間とし、8月11日には埼玉スタジアムでキックオフを開催し、その後東北各地でのイベントやスタンプラリーやフォトコンテストなどをご用意しています。販売店のお客にもぜひ参加を呼び掛けて頂ければと思います。詳細はMFJのHPをご参照ください。



特別会員 一般財団法人 全日本交通安全協会

「二輪車安全運転推進委員会」を設置し安全運転講習等を実施

一般財団法人全日本交通安全協会（以下、全安協）は、悲惨な交通事故を一件でも減らし、交通事故による犠牲者を限りなくゼロにしようと願って、国民一人ひとりの交通道徳の普及啓発や交通安全の実現のための活動を全国的に推進するために昭和36年1月に設立されました。

主な活動としては、国民運動としての交通安全活動を推進するため、昭和36年1月から皇室の御臨席を仰ぎ、内閣総理大臣、衆参両院議長、関係大臣などのご列席のもと「交通安全国民運動中央大会」を開催しています。

そのほか二輪車関係では、二輪車の安全運転教育を普及推進し二輪車による交通事故の防止を図るため、昭和47年から当協会と全国47都道府県交通安全協会に「二輪車安全運転推進委員会」を設置し、関係団体の協力を得て、原付・二輪免許取得者及び既得者を対象とする安全運転講習等を実施しているほか、これら講習会の指導員として全国で約1万人を認定しており、その指導能力を高めるため、「二輪車安全運転特別指導員中央研修会」等を開催しています。また、二輪車の交通事故防止に資するため、昭和43年から「二輪車安全運転全国大会」を主催しています。

全安協では、各種の交通安全活動を通じて、交通安全の実現に努めています。今後とも皆様方のご協力をお願いします。

全安協の活動の詳細はHP（<http://www.jtsa.or.jp>）をご参照ください。



特別会員 公益財団法人 全国防犯協会連合会

「安全で安心な社会」の実現をめざして

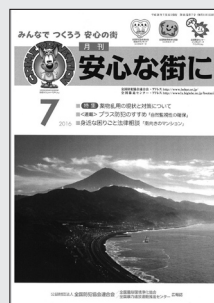
「安全で安心な社会」の実現……全国防犯協会連合会は、このすべての人の願いを目指して活動を続けている団体です。

日常生活で犯罪に遭わないこと……そのためには、住民や企業主体で社会を犯罪の起きにくいものに変えていく必要があります。警察や行政と協働しつつ、住民や地域・職域のボランティア団体の皆さんによる防犯パトロール、カメラ等の防犯機器の設置などにより、犯罪に遭いにくい環境、犯罪に強い社会を作り上げる努力が重要なのです。

以上のような努力を積み上げた結果、この10年以上、犯罪は着実に減少してきました。しかし最近、振り込め詐欺、サイバー犯罪、ストーカー犯罪など新たな犯罪が問題となっています。

全国防犯協会連合会では、そうした犯罪被害防止のための冊子等を作成・頒布しています。防犯ボランティアの活動などを載せた「月刊安心な街に」、振り込め詐欺被害防止冊子「詐欺に騙されないために」、身近な防犯対策のための「防犯生活ガイド」などいずれも写真やイラスト入りでわかりやすい内容となっています。冊子等の購入をご希望の方は下記（電話またはFax）へお申し込み下さい。

（公財）全国防犯協会連合会 <http://www.bohan.or.jp> Tel. 03-3868-0157 Fax 03-3868-0257



「平成28年1月号 日本二普協ニュースNo.116」のお詫びと訂正

「平成28年1月号 日本二普協ニュース No.116」（誌面）のP.11にて「G防登録推進キャンペーンで会長表彰を受賞された販売店をご紹介しましたが、その中で「株式会社弁慶 林社長」、「有限会社木村輪業 木村社長」の画像とお名前が逆になっておりました。大変失礼致しました。正しくは下記の通りです。「林社長」、「木村社長」、におかれましてはご勘弁をいただきますようお願い申し上げます。この誌面にてお詫び申し上げます。



株式会社弁慶
林社長



有限会社木村輪業
木村社長

編 集 後 記

今回の日本二普協ニュースはいかがでしたでしょうか。
皆様にとって知って得になる情報を少しでもお届けできるように、進化していければと考えております。皆様からのご意見、ご感想を頂ければ幸いです。
＜ info@jmpsa.or.jp あてにメールをお送りください。 ＞

今回は普通会员である二輪車関連団体及び特別会員をご紹介しました。
関連団体の皆様におかれましては、この度は寄稿にご協力頂き大変ありがとうございました。
本誌をご覧になった皆様は各二輪車関連団体のことはご存じでしたでしょうか。
日頃から日本二普協の事業活動で多大なご支援、ご協力を頂いている関連団体の皆様です。

本年も日本二普協は、各事業活動を継続推進しながら、二輪車に関わる多種多様なバイクライフサイクルに対応して参ります。二輪車ユーザーがより安全で快適なバイクライフを過ごせる社会を目指し取組んで参りますので、引続き皆様のご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

編集担当

統計 1 都道府県別二輪車乗車中死者数（平成28年5月末）

5月末の全交通事故者数は前年同期比42人減

－但し、二輪車乗車中死者数は同数－

平成28年5月末警察庁資料

	自二車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全死者数			
	28年 5月末	増減数	27年 5月末	28年 5月末	増減数	27年 5月末	28年 5月末	増減数	27年 5月末	28年 5月末	増減数	27年 5月末	
北海道	1	1	0	1	0	1	2	1	1	52	-8	60	
東	青森	2	2	0	0	-1	1	2	1	16	-1	17	
	岩手	2	2	0	1	1	0	3	3	35	11	24	
	宮城	2	1	1	1	1	0	3	2	31	10	21	
北	秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	15	8	7	
	山形	1	0	1	2	2	0	3	2	12	-5	17	
	福島	2	2	0	2	1	1	4	3	38	12	26	
計	9	7	2	6	4	2	15	11	4	147	35	112	
東京	10	-8	18	2	0	2	12	-8	20	63	-5	68	
関	茨城	4	0	4	4	0	4	8	0	8	72	12	60
	栃木	2	0	2	3	1	2	5	1	4	36	-3	39
	群馬	3	2	1	0	0	0	3	2	1	24	3	21
	埼玉	8	-5	13	6	2	4	14	-3	17	67	-2	69
	千葉	6	-7	13	4	4	0	10	-3	13	68	0	68
	神奈川	14	1	13	2	-4	6	16	-3	19	44	-26	70
	新潟	5	2	3	1	-1	2	6	1	5	29	-1	30
東	山梨	0	-2	2	1	-1	2	1	-3	4	16	5	11
	長野	6	5	1	1	0	1	7	5	2	61	42	19
	静岡	5	-2	7	4	-6	10	9	-8	17	56	-6	62
	計	53	-6	59	26	-5	31	79	-11	90	473	24	449
中	富山	0	-2	2	0	-1	1	0	-3	3	27	1	26
	石川	2	1	1	0	-1	1	2	0	2	20	-5	25
	福井	0	-3	3	0	0	0	0	-3	3	24	11	13
	岐阜	4	1	3	0	-1	1	4	0	4	44	5	39
	愛知	9	3	6	8	2	6	17	5	12	72	-5	77
	三重	5	5	0	1	-3	4	6	2	4	45	10	35
計	20	5	15	9	-4	13	29	1	28	232	17	215	
近	滋賀	3	-1	4	4	2	2	7	1	6	26	-14	40
	京都	2	-3	5	2	1	1	4	-2	6	20	-15	35
	大阪	13	-4	17	3	0	3	16	-4	20	60	-25	85
	兵庫	7	1	6	2	-4	6	9	-3	12	60	-12	72
	奈良	1	0	1	5	2	3	6	2	4	13	-8	21
	和歌山	1	-1	2	1	0	1	2	-1	3	14	2	12
計	27	-8	35	17	1	16	44	-7	51	193	-72	265	
中	鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	7	-5	12	
	島根	1	0	1	0	-1	1	1	-1	2	12	-3	15
	岡山	4	1	3	0	0	0	4	1	3	36	-2	38
	広島	3	-1	4	3	1	2	6	0	6	39	-11	50
	山口	4	4	0	1	-1	2	5	3	2	25	2	23
計	12	4	8	4	-1	5	16	3	13	119	-19	138	
四	徳島	0	-3	3	2	2	0	2	-1	3	26	15	11
	香川	3	1	2	2	1	1	5	2	3	22	-8	30
	愛媛	6	4	2	4	1	3	10	5	5	31	-2	33
	高知	3	2	1	2	1	1	5	3	2	23	9	14
計	12	4	8	10	5	5	22	9	13	102	14	88	
九	福岡	8	2	6	6	3	3	14	5	9	59	-6	65
	佐賀	0	-3	3	0	0	0	0	-3	3	14	-7	21
	長崎	3	2	1	2	2	0	5	4	1	18	4	14
	熊本	2	2	0	0	0	0	2	2	0	30	0	30
	大分	1	-1	2	1	-1	2	2	-2	4	14	2	12
	宮崎	2	-1	3	1	-2	3	3	-3	6	17	-1	18
	鹿児島	3	2	1	0	-4	4	3	-2	5	15	-18	33
	沖縄	5	0	5	1	0	1	6	0	6	15	-2	17
計	24	3	21	11	-2	13	35	1	34	182	-28	210	
合計	168	2	166	86	-2	88	254	0	254	1,563	-42	1,605	

統計2 グッドライダー防犯登録 前年対比表

1月～6月の実績は前年同期比94.2%、7,644件の減少

実施年月	都道府県	6月		増減	前年比	4月～6月累計		増減	前年比	1月～6月累計		増減	前年比
		H27	H28			H27年度	H28年度			H27	H28		
H10/6	北海道	165	191	26	115.8	631	628	-3	99.5	690	670	-20	97.1
H10/1	青森県	179	83	-96	46.4	486	400	-86	82.3	587	481	-106	81.9
H10/4	岩手県	85	88	3	103.5	364	337	-27	92.6	461	425	-36	92.2
H9/8	宮城県	564	511	-53	90.6	2,029	1,844	-185	90.9	3,109	2,870	-239	92.3
H10/1	秋田県	31	37	6	119.4	131	138	7	105.3	171	164	-7	95.9
H10/1	山形県	105	78	-27	74.3	302	275	-27	91.1	383	340	-43	88.8
H10/1	福島県	134	98	-36	73.1	397	298	-99	75.1	602	471	-131	78.2
	東北計	1,098	895	-203	81.5	3,709	3,292	-417	88.8	5,313	4,751	-562	89.4
H8/4	東京都	1,731	1,711	-20	98.8	5,741	5,564	-177	96.9	10,612	9,841	-771	92.7
H13/10	茨城県	335	300	-35	89.6	1,069	1,039	-30	97.2	1,928	1,743	-185	90.4
H9/10	栃木県	132	113	-19	85.6	450	336	-114	74.7	783	594	-189	75.9
H11/11	群馬県	141	145	4	102.8	483	482	-1	99.8	806	785	-21	97.4
H9/4	埼玉県	1,309	1,176	-133	89.8	3,806	3,632	-174	95.4	7,066	6,391	-675	90.4
H10/6	千葉県	773	702	-71	90.8	2,282	2,047	-235	89.7	4,058	3,547	-511	87.4
H10/7	神奈川県	1,922	1,719	-203	89.4	5,682	5,243	-439	92.3	10,277	10,156	-121	98.8
H8/4	新潟県	130	84	-46	64.6	425	345	-80	81.2	575	455	-120	79.1
H12/4	山梨県	272	256	-16	94.1	1,231	1,053	-178	85.5	1,943	1,718	-225	88.4
H10/1	長野県	224	188	-36	83.9	739	613	-126	82.9	1,078	921	-157	85.4
	関東計	6,969	6,394	-575	91.7	21,908	20,354	-1,554	92.9	39,126	36,151	-2,975	92.4
H12/8	静岡県	569	491	-78	86.3	1,812	1,653	-159	91.2	3,239	3,054	-185	94.3
H10/7	富山県	61	47	-14	77.0	174	150	-24	86.2	270	193	-77	71.5
H10/7	石川県	30	22	-8	73.3	130	109	-21	83.8	191	151	-40	79.1
H10/7	福井県	54	49	-5	90.7	185	175	-10	94.6	266	263	-3	98.9
H14/4	岐阜県	88	49	-39	55.7	278	207	-71	74.5	415	347	-68	83.6
H14/4	愛知県	1,031	849	-182	82.3	3,196	3,064	-132	95.9	5,726	5,363	-363	93.7
H10/11	三重県	237	238	1	100.4	843	810	-33	96.1	1,527	1,415	-112	92.7
	中部計	2,070	1,745	-325	84.3	6,618	6,168	-450	93.2	11,634	10,786	-848	92.7
H10/4	滋賀県	430	289	-141	67.2	1,420	1,201	-219	84.6	2,641	2,144	-497	81.2
H9/8	京都府	1,092	987	-105	90.4	3,766	4,379	613	116.3	7,045	7,496	451	106.4
H10/12	大阪府	3,141	2,698	-443	85.9	10,026	9,340	-686	93.2	19,196	18,236	-960	95.0
H10/11	兵庫県	1,373	1,005	-368	73.2	3,967	3,644	-323	91.9	7,229	7,017	-212	97.1
H10/9	奈良県	162	129	-33	79.6	626	520	-106	83.1	1,131	990	-141	87.5
H10/4	和歌山県	300	222	-78	74.0	1,242	899	-343	72.4	2,306	1,803	-503	78.2
	近畿計	6,498	5,330	-1,168	82.0	21,047	19,983	-1,064	94.9	39,548	37,686	-1,862	95.3
H10/12	鳥取県	54	44	-10	81.5	158	137	-21	86.7	252	216	-36	85.7
H10/1	島根県	158	125	-33	79.1	469	429	-40	91.5	699	717	18	102.6
H11/1	岡山県	606	584	-22	96.4	2,304	2,106	-198	91.4	3,878	3,571	-307	92.1
H10/4	広島県	1,890	1,652	-238	87.4	6,810	5,983	-827	87.9	11,977	10,806	-1,171	90.2
H11/4	山口県	310	455	145	146.8	989	1,173	184	118.6	1,631	1,774	143	108.8
	中国計	3,018	2,860	-158	94.8	10,730	9,828	-902	91.6	18,437	17,084	-1,353	92.7
H11/1	徳島県	84	84	0	100.0	337	260	-77	77.2	543	506	-37	93.2
H10/9	香川県	137	160	23	116.8	413	432	19	104.6	813	793	-20	97.5
H12/4	愛媛県	785	1,209	424	154.0	2,865	3,503	638	122.3	5,564	5,964	400	107.2
H10/11	高知県	191	190	-1	99.5	693	602	-91	86.9	1,347	1,210	-137	89.8
	四国計	1,197	1,643	446	137.3	4,308	4,797	489	111.4	8,267	8,473	206	102.5
H10/4	福岡県	460	451	-9	98.0	1,464	1,566	102	107.0	2,796	2,798	2	100.1
H10/11	佐賀県	17	15	-2	88.2	47	57	10	121.3	75	98	23	130.7
H10/4	長崎県	74	64	-10	86.5	227	218	-9	96.0	421	402	-19	95.5
H10/5	熊本県	283	323	40	114.1	1,343	1,169	-174	87.0	2,224	2,074	-150	93.3
H10/10	大分県	199	73	-126	36.7	441	391	-50	88.7	765	661	-104	86.4
H10/9	宮崎県	89	80	-9	89.9	354	342	-12	96.6	670	638	-32	95.2
H8/4	鹿児島県	133	110	-23	82.7	587	537	-50	91.5	1,178	1,101	-77	93.5
H10/10	沖縄県	167	289	122	173.1	1,015	1,141	126	112.4	1,650	1,777	127	107.7
	九州計	1,422	1,405	-17	98.8	5,478	5,421	-57	99.0	9,779	9,549	-230	97.6
	全国計	22,437	20,463	-1,974	91.2	74,429	70,471	-3,958	94.7	132,794	125,150	-7,644	94.2

統計3 二輪車盗難認知及び被害回復状況（平成28年6月末）

前年同期間の比較：認知件数30.1%減、被害回復45.4%に向上

都道府県	G防普及率 H28年6月	平成26年			平成27年			平成27年 1月～6月			平成28年 1月～6月		
		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率
北海道	5.0	253	138	54.5	166	90	54.2	63	31	49.2	88	26	29.5
青森県	11.3	8	5	62.5	35	24	68.6	11	6	54.5	3	2	66.7
岩手県	7.9	34	29	85.3	17	11	64.7	11	7	63.6	5	4	80.0
宮城県	30.2	461	254	55.1	289	125	43.3	144	64	44.4	114	51	44.7
秋田県	5.1	7	1	14.3	2	2	100.0	1	1	100.0	0	0	
山形県	8.3	33	9	27.3	14	10	71.4	7	5	71.4	9	1	11.1
福島県	6.7	105	53	50.5	85	56	65.9	40	25	62.5	54	17	31.5
東北計	14.2	648	351	54.2	442	228	51.6	214	108	50.5	185	75	40.5
東京都	22.0	3,045	1,203	39.5	3,207	1,058	33.0	1,597	518	32.4	1,017	389	38.2
茨城県	12.8	977	117	12.0	739	72	9.7	394	26	6.6	238	71	29.8
栃木県	7.7	204	20	9.8	141	23	16.3	71	11	15.5	55	9	16.4
群馬県	10.1	483	175	36.2	299	141	47.2	198	72	36.4	92	48	52.2
埼玉県	24.1	2,829	444	15.7	2,685	500	18.6	1,334	261	19.6	679	176	25.9
千葉県	14.8	2,455	896	36.5	2,149	794	36.9	1,136	436	38.4	844	426	50.5
神奈川県	19.2	4,271	2,179	51.0	3,885	1,907	49.1	2,034	999	49.1	1,422	746	52.5
新潟県	5.6	151	57	37.7	110	36	32.7	35	8	22.9	44	10	22.7
山梨県	30.6	670	272	40.6	742	328	44.2	397	181	45.6	244	113	46.3
長野県	10.5	106	63	59.4	63	21	33.3	26	12	46.2	26	16	61.5
関東計	18.2	15,191	5,426	35.7	14,020	4,880	34.8	7,222	2,524	34.9	4,661	2,004	43.0
静岡県	12.7	853	493	57.8	856	452	52.8	488	271	55.5	295	145	49.2
富山県	8.3	39	20	51.3	51	19	37.3	30	12	40.0	12	2	16.7
石川県	7.1	59	22	37.3	80	37	46.3	37	16	43.2	23	15	65.2
福井県	11.9	49	32	65.3	45	26	57.8	19	9	47.4	9	6	66.7
岐阜県	6.8	414	262	63.3	297	179	60.3	192	117	60.9	102	50	49.0
愛知県	18.4	2,138	631	29.5	1,525	396	26.0	768	219	28.5	759	199	26.2
三重県	16.6	662	265	40.0	450	208	46.2	224	120	53.6	147	73	49.7
中部計	14.3	4,214	1,725	40.9	3,304	1,317	39.9	1,758	764	43.5	1,347	490	36.4
滋賀県	31.5	491	182	37.1	412	122	29.6	256	80	31.3	168	51	30.4
京都府	30.5	1,935	988	51.1	1,395	649	46.5	697	332	47.6	491	196	39.9
大阪府	35.8	6,511	2,693	41.4	5,310	2,200	41.4	2,629	1,126	42.8	1,956	870	44.5
兵庫県	22.0	3,479	1,483	42.6	2,911	931	32.0	1,352	460	34.0	1,291	504	39.0
奈良県	10.5	586	308	52.6	337	180	53.4	219	114	52.1	133	47	35.3
和歌山県	19.2	291	139	47.8	153	78	51.0	64	37	57.8	72	22	30.6
近畿計	28.1	13,293	5,793	43.6	10,518	4,160	39.6	5,217	2,149	41.2	4,111	1,690	41.1
鳥取県	18.1	33	23	69.7	38	17	44.7	19	11	57.9	16	10	62.5
島根県	32.6	16	15	93.8	16	11	68.8	11	5	45.5	5	1	20.0
岡山県	39.7	868	578	66.6	522	313	60.0	236	163	69.1	197	112	56.9
広島県	62.2	714	478	66.9	475	361	76.0	274	212	77.4	154	103	66.9
山口県	32.2	142	69	48.6	84	43	51.2	33	24	72.7	41	25	61.0
中国計	48.1	1,773	1,163	65.6	1,135	745	65.6	573	415	72.4	413	251	60.8
徳島県	13.4	87	49	56.3	60	24	40.0	27	16	59.3	21	14	66.7
香川県	11.6	253	130	51.4	146	95	65.1	84	56	66.7	35	22	62.9
愛媛県	46.9	474	235	49.6	327	126	38.5	196	62	31.6	110	62	56.4
高知県	22.8	146	83	56.8	119	70	58.8	69	41	59.4	25	24	96.0
四国計	28.9	960	497	51.8	652	315	48.3	376	175	46.5	191	122	63.9
福岡県	12.0	5,267	3,369	64.0	3,346	2,295	68.6	1,862	1,276	68.5	1,069	746	69.8
佐賀県	2.2	202	151	74.8	147	85	57.8	94	57	60.6	37	33	89.2
長崎県	5.2	152	93	61.2	97	72	74.2	56	34	60.7	46	19	41.3
熊本県	19.7	322	346	107.5	264	199	75.4	112	88	78.6	88	82	93.2
大分県	12.0	266	166	62.4	140	104	74.3	70	58	82.9	67	39	58.2
宮崎県	11.2	140	98	70.0	151	109	72.2	77	44	57.1	39	29	74.4
鹿児島県	13.2	228	161	70.6	206	140	68.0	106	62	58.5	85	49	57.6
沖縄県	15.4	811	239	29.5	897	301	33.6	477	131	27.5	354	153	43.2
九州計	12.4	7,388	4,623	62.6	5,248	3,305	63.0	2,854	1,750	61.3	1,785	1,150	64.4
全国計	21.1	43,720	19,716	45.1	35,485	15,040	42.4	18,277	7,916	43.3	12,781	5,808	45.4

(注) G・防普及率
6月末G防有効累計件数
H27年4月保有台数

<H26対H27比較>
①盗難認知件数 -8,235 -18.8%

・前年同期間比較 ①認知件数 -5,496 -30.1%

②認知件数の増減(県の数)	③回復率の増減(県の数)
認知増県数 6	回復率ダウン 21
認知減県数 40	回復率アップ 25
計 46	計 46

編集・発行

〒170-0005
東京都豊島区南大塚2-25-15 South 新大塚ビル7F
TEL : 03-6902-8190 FAX : 03-6902-8195
ホームページ : <http://www.jmpsa.or.jp>

一般社団法人 日本二輪車普及安全協会
